

編集室から

6月にブラジルで開催された国連持続可能な開発会議(リオ+20)に参加しました。各国首脳級による本会議だけでなく数え切れないほどのイベントが開かれ、世界中から集まった5万人もの人たちが環境や貧困など地球の持続可能性を阻害するさまざまな課題について議論する壮大な会議でした。

スケールは違いますが、私たち三井住友信託銀行が全国の支店において推進している「With You」の取り組みも、持続可能な社会づくりへ参画したいという思いが出発点となっている点では同じです。ナショナル・トラスト活動の支援などを通

じて自然資本の保全に貢献する「環境・生きもの応援活動」、豊かな高齢社会の構築を目指してお客さまが健康で豊かに年齢を重ねていくことをお手伝いする「サクセスフル・エイジング」支援、地域や社会のいろいろな分野に内在する問題を取り上げる「地域・社会」サポートを、活動の3つの柱としています。

この季刊誌「With You」は、そんな私たちの活動の3カ月に1回の定期報告書として発行を開始しました。私たちはその言葉通り、「皆さまとともにいる(With You)」銀行であり続けたいと考えております。(編集長T.K.)

表紙のトラスト地紹介

水のトラスト(埼玉)

埼玉、山梨、長野の三県が接する甲武信ヶ岳に源を発し、東京湾へと注ぐ荒川の水源部にあたる秩父。ここに広がる森は、埼玉県民や東京都民の飲み水を一滴一滴つくりだしている貴重な水源です。近年は以前の豊かさを失いつつあり、水源としての機能も低下していますが、クヌギやコナラ、ブナなどの広葉樹が残る森は、ムササビやリスなどの小動物から、絶滅の危機にあるツキノワグマやクマタカ、天然記念物のカモシカなど、自然の豊かさを象徴する生きもののすみかになっています。実際に森を歩けば、クマやリスの食事跡や、ノウサギの足跡など、生きものたちの息づかいが聞こえてきます。

こうした多くの生きものと大切な水を育む森を守るため、「埼玉県生態系保護協会」は「水のトラストしよ基金」を2002年に立ち上げ活動をはじめました。「水のふるさとを守りたい」という思いで寄せられた寄付をもとに、これまでに累計84haの森を取得し、保全しています。



水のトラスト5号地から流れる瀑布 協会では隣接する6、7号地の取得を目指している



三井住友信託銀行は、日本のナショナル・トラスト活動を応援しています。

将来世代に日本の豊かな自然を引き継いでいくために、三井住友信託銀行は生物多様性や生態系を保全する取り組みにおいて、金融業界をリードする役割を担っていきたいと考えています。弊社は、公益社団法人日本ナショナル・トラスト協会や、公益財団法人日本生態系協会からの専門的なアドバイスを受けながら、さまざまな形でナショナル・トラスト活動を応援しています。

With You活動のより詳しい情報は、WEBサイトでも紹介しています。

<http://www.smtb.jp/csr/withyou/>

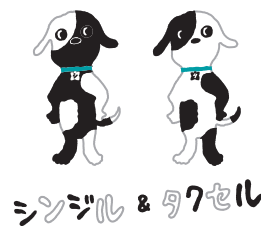
三井住友信託銀行が地域・社会の皆さまと一緒に行っている活動を紹介しながら、お客さまのご興味・ご関心に応えるWEBサイトを目指していきます。ぜひご覧ください。



またWith You支店ブログでは、全国の支店ごとにWith You活動の最新の状況をお伝えしています。

With You支店ブログ

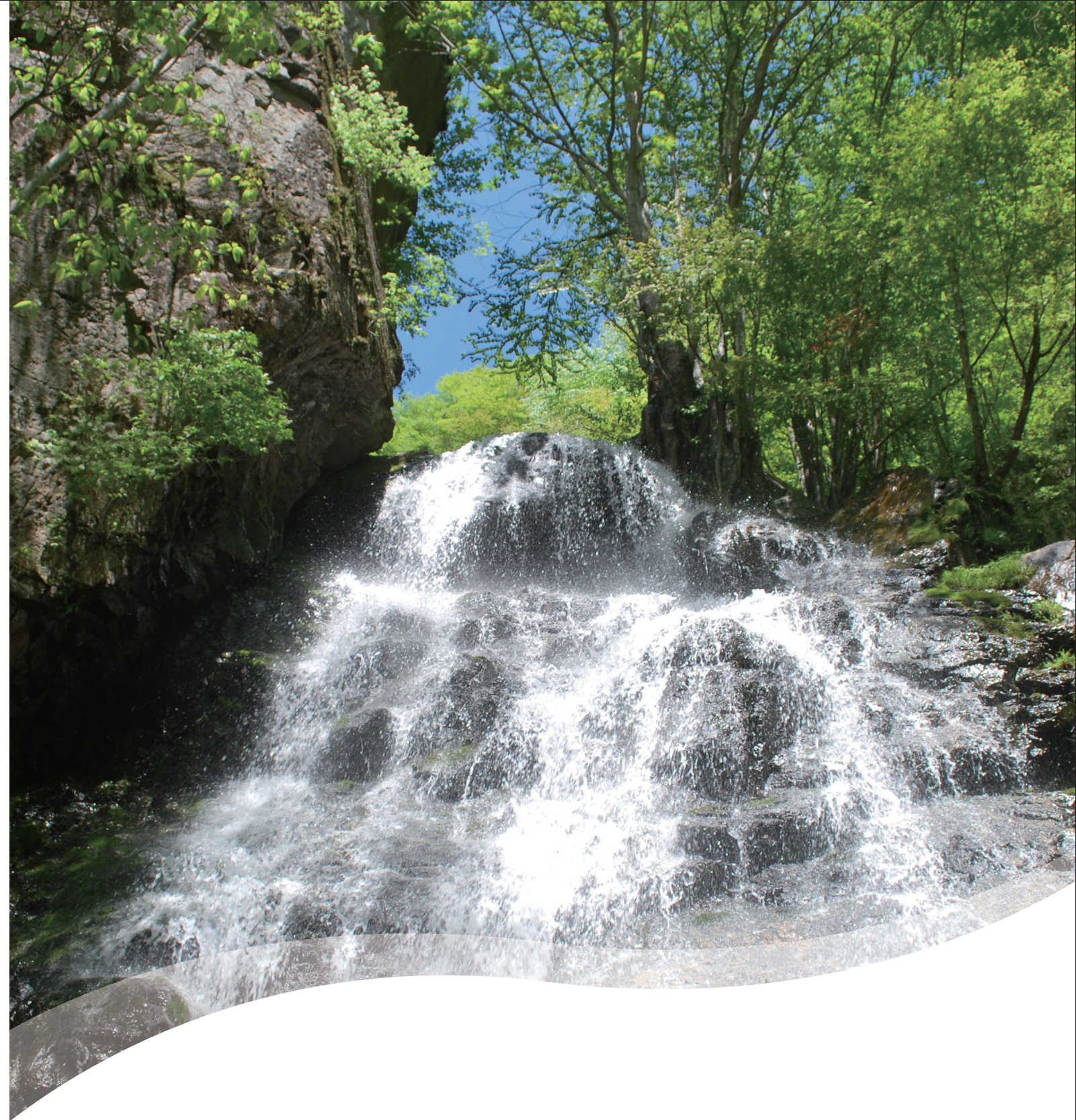
<http://branchblog.smtb.jp/>



三井住友信託銀行のキャラクター シンジル&タクセル



ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。



With You
2012年社会貢献活動レポート vol.1

- Special Topic
日本の金融機関では唯一「自然資本宣言」に署名
- わがまちの自慢 vol.1
杜の都の「七夕まつり」
- 支店活動紹介
四日市支店 山口防府支店 神戸支店 横須賀支店
- トラスト地紹介
水のトラスト(埼玉)



貴重な自然を未来へ引き継ぐために

日本の金融機関では唯一「自然資本宣言」に署名

6月に開催された国連持続可能な開発会議(リオ+20)*において、弊社は、日本の金融機関では唯一、「自然資本宣言(The Natural Capital Declaration)」に署名しました。

自然資本は、今人類が守らなければならない最も貴重な財産で、リオの会議でも活発に議論されたテーマです。弊社はこれまでも自然資本を支える生物多様性や生態系の保全を、事業を通じて支援するためにさまざまな金融商品・サービスの開発に取り組んできましたが、今回の「自然資本宣言」への署名により、これまでの取り組みをさらに推し進め、自然資本の持続可能な利用に貢献していきます。

※ ブラジルのリオ・デ・ジャネイロで開催された国際会議。経済成長と環境保護の両立を目指す「グリーン経済」への移行に関する新たな制度的枠組み等が議論されました。

自然資本と ナショナル・トラスト活動

弊社は、自然資本を維持していくには、開発から自然を守ることが何より効果的であるとの考えから、日本のナショナル・トラスト活動を積極的に応援してきました。

ナショナル・トラストとは、自然破壊の危機にある土地を市民や企業から寄付を募って買い取り、豊かな自然を次の世代へ引き継いでいこうという活動です。弊社では、全国の活動を取りまとめる公益社団法人日本ナショナル・トラスト協会などから専門的なアドバイスをいただきながら、さまざまな形でその活動を応援しています。

その一環として、一昨年には絶滅の危機にある3種の貴重な生きものを守る「ナショ

ナル・トラスト応援キャンペーン」を実施し、トラスト地購入資金を寄付しました。さらに社会貢献寄付信託・特定寄附信託では、お客さまのご資金をトラスト地購入におつなぎする仕組みを整えています。

貴重な自然を未来へ引き継ぐために一三井住友信託銀行はこれからも生物多様性を保全する取り組みに力を入れていきます。

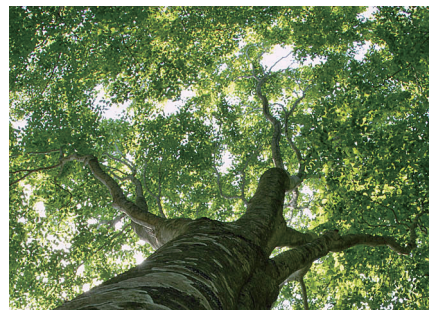
3種の貴重な生きもの



アマミノクロウサギ
(写真 常田 守)



ツシヤママネコ
(写真 山村 辰美)



北限のブナ林

(写真 齋藤 均)

「自然資本宣言」とは？

私たち生きものが住む地球は、土壌、空気、水、動植物相など、さまざまな自然の要素で構成されています。それらは私たちの暮らしに恩恵を与えてくれるばかりではなく、持続可能な社会の基盤を形成する重要な財産でもあります。「自然資本宣言」とは、これらの自然を経済活動の根幹となる「自然資本」と位置づけ、世界の金融機関が自然資本の重要性を認識し、自然を守り育てる責務を、事業を通じて積極的に果たしていくことを宣言するものです。



Natural
Capital
Declaration

わがまちの自慢

vol.1

杜の都の「七夕まつり」 仙台支店・仙台あおば支店

仙台支店と仙台あおば支店は、JR仙台駅西口から青葉城址へまっすぐ伸びる青葉通り沿いにあります。豊かな食・自然・歴史・伝統・文化があふれ「杜の都」とも呼ばれる仙台。そんなわが街の夏の風物詩「仙台七夕まつり」をご紹介します。

東北三大祭りのひとつ「仙台七夕まつり」は、毎年8月初旬に3日間開催され、全国から大勢の人が訪れます。まつり期間中は仙台特有の七夕飾りで町中が飾られ、にぎやかな雰囲気になります。実はこの七夕には、有名な戦国武将と深い縁があります。江戸時代の初め、仙台藩の文化向上をはかるために伊達政宗公が奨励した星祭りが、家庭の年中行事として

受け継がれてきたとも言われています。

2012年の仙台七夕のテーマは「願い・希望・感謝」。復興への思いとこれまで支援してくださった皆さまへの感謝を込めて、今年もさまざまなイベントが行われます。祭りの口火を切るのは8月5日の花火祭。東北の夜空を彩る数々の花火は圧巻です。仙台から東北を元気に！皆さまもぜひ、今年の夏は仙台へお越しください。

平成24年仙台七夕まつり

8月6日(月)～8日(水) 主催 仙台七夕まつり協賛会

第43回仙台七夕花火祭

8月5日(日) 19:00～20:30(雨天時8月9日(木)に順延)

場所 仙台西公園周辺



(写真 仙台七夕まつり協賛会)



仙台支店
菅野 望

支店活動紹介

環境・生きもの応援活動

ウミガメが産卵に訪れる海岸を守る 四日市支店

四日市支店では2012年3月、四日市市楠町吉崎海岸の清掃活動を実施しました。

かつて公害の町として有名になった四日市市ですが、地道な環境改善に取り組んできたおかげで、工業地帯周辺の空気もきれいになりました。

実はこの工業地帯のすぐそばの吉崎海岸には、昨年ウミガメが産卵に訪れています。実に7年ぶりの出来事です。ウミガメが安心して産卵に訪れる海岸を取り



海岸のゴミ拾い活動



四日市支店
藤田 雄大

戻そうと、地元住民が中心となって地道な清掃活動を継続してきたことが実を結びました。多い時には1時間でゴミ袋100個分が集まったそうです。

ウミガメがこれからも継続的にこの場所を選び、産卵してくれるような海岸にするために、私たちの手で自然環境を守っていく必要があります。今回は少人数での清掃活動でしたが、これからもより多くの同僚たちとともに活動を継続したいと思います。

サクセスフル・エイジング支援

シニアライフ応援セミナーを開催 神戸支店

神戸支店では「お客さまから頼りにされる銀行」を目指して、さまざまな活動を行っています。2012年3月には、お客さまの関心の高い「がん」をテーマとしたセミナーを開催し、126名の方々にご参加いただきました。

セミナーは2部構成で、第1部は「がんのお話～その予防と最新の治療方法」をテーマに大阪大学医学部教授の杉山治夫先生にお話しいただき、第2部は「円滑な資産承継のために知っておきたい相続・遺言の知識」をテーマに、当店財務コンサルタントの斧原元治が講演を行いました。

このセミナーは募集開始から2～3日で定員を超えるほどのお申し込みをいただき、キャンセル待ちの方が出るとの人気でした。



シニアライフ応援セミナーの様子



神戸支店
古賀 ももこ

環境・生きもの応援活動

地元の森林整備をお手伝いしています 山口防府支店

山口防府支店では、地元の森林整備のお手伝いをしています。

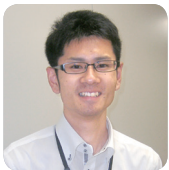
緑豊かなイメージのある山口県ですが、過疎化が進んだ地域では森林の手入れが行き届かず、荒廃が問題となっています。そこで私たちは、竹林ボランティア防府、防府ロータリークラブや防府市役所の皆さまと一緒に、森林や竹林の間伐、

下草刈りの作業などを定期的に行っています。

山口の自然を取り戻すことに貢献しようと始めたこの活動も、気が付けば今年で7年目。他のボランティア団体や地域の子どもたちとの交流を深めるよい機会にもなっています。これからも活動を継続し、水源地の水質保全や森林・里山の活性化に貢献していきます。



里山での作業



山口防府支店
小堤 峻

地域・社会サポート

マイ・タウン・ティーチャーに参加 横須賀支店

横須賀支店は、「よこすかキャリア教育推進事業」の活動の1つである「マイ・タウン・ティーチャー」に協力しています。これは、地域のさまざまな業種の社会人が中学生に対して自分の仕事や生き方を紹介し、「職業観」や「将来の夢」などをテーマとしたディスカッションを通じて、働くことについて考えを深めてもらうプログラムです。

2011年2月より支店社員の学校派遣を開始し、2012年3月には私ともう1名の同僚が市立衣笠中学校を訪ね、これが6回目

の活動となりました。

私たちが生徒さんたちに仕事のやりがいとは何かを話すことで、自分自身を振り返り、社会人としての立場を見つめなおすことができました。また、コミュニケーションや教えることの難しさなども改めて学び、貴重な経験を積むことができました。

生徒さんたちは、最初は実感がわかない様子でしたが、終了後には「働くということの意味、大切さを知って両親に感謝する気持ちが前よりも増えた気がします」など、大変嬉しい感想を聞くこともできました。



プログラム中のディスカッション



横須賀支店
西川 洋平